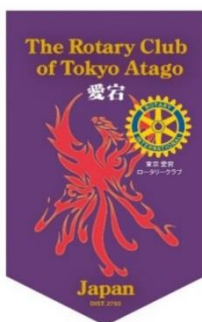


No. 14 2014/1/7

WEEKLY REPORT 2013~2014



東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹
副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次
副会長 波多野まみ
例会場 東京アメリカンクラブ
例会日 毎週火曜日 8:00~

■2014年1月7日(火)
本日の予定
フリーディスカッション
(会長、幹事、理事、委員長など
フリー発表&議論)

~四つのテスト~

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行うべし

■12月24日(火)例会 会長挨拶 会長 尾関 勇

本日第16回ということで、6か月間、このロータリークラブはスタートからやってまいりました。この半年、無事やってこれたことに皆様、感謝申し上げます。ありがとうございます。少し気になっているのは、2日前に冬至を迎えまして、朝の集まり状況が厳しくなっているのかなと思います。また今日はゲストの方もお迎えし、非常に多彩なメンバーで過ごす例会を楽しみにしております。まずメンバーの皆様方にもお願いをしたいところですが、今までは、どちらかという勢いで走ってきた感じもあり、メンバー自身もまだゲストの感覚でいらしていた方もいらっしゃるかと思いますが、いよいよロータリーとしては来年、次年度に向けて地区大会やセミナーの開催をしていくわけです。せっかく、自分の貴重な時間を投じて来ているわけですから、皆経営者として自分のブラッシュアップに繋げていっていただきたいと思っております。出ないと、行っている意味がないと思うわけです。私はこの時期に絡んで一つお話ししたいことがございます。本年度最後の例会というわけですが、22日冬至を迎え、節分まで40日間は、ちょうど生まれ変わり再生の期間で、リセットするとよく言われています。かくいう私も、10数年前、会社で専務の時代に、正月休みを長野

のスキー場で過ごしていたところ、パソコンでちょっと仕事の件で見ていたところ、ちょっとマズいぞ、となりまして、当時社長だった父と相談し、結局事なきを得て今ここにいます。その時にお寺で本を読む機会があり、当時から2月3日の節分の中で様々なことを回想するのだと、その年に起こったことを色々12月の大祓で穢れを落とし、新しい年度に向かってまた芽生えていくのだと。ですから、仏教で言うとよい星が巡ってきますように、ということはこの時期にやるわけです。その間に年末年始、西暦でありまして、色々な行事がある時期です。この時期に日本人として日本人として考えることを考えますと、万物が巡りあう時期だなと感じます。ロータリーはこの中間地点ですので、新たに1月より多くのことが起こっていくのであります。ぜひ来年、皆さんが良い年をお迎えになりますよう、ちなみにこの良い年をと「よいお年をお迎えください」なのですが、正確には「よい年神様をお迎えください」という意味で、大年神様という神様を家に、門松を立てしめ縄をし、鏡餅を供え、年神様にどうぞ来て頂いて、一年間無病息災で幸せに過ごさせていただけますように、と迎えるわけです。皆さんが良い年をお迎えになられて、今年あったことはあったこととして、ロータリーも不完全でありました。来年、この注目されている愛宕ロータリーが飛躍ができますように、精いっぱい私も頑張りたいと思っておりますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。



塩沢仁志会員 山田哲也会員

橋場一晃会員(12月5日生まれ)欠席のため、1月にお祝いいたします。

■12月24日(火)インシエーションスピーチ 東京愛宕ロータリークラブ 2013-14年度副会長・会長ノミニ ホッピービバレッジ株式会社 代表取締役社長 石渡 美奈 会員

おはようございます。本日は、私自身にとっても本年最後のスピーチの機会を頂き誠にありがとうございます。先のニコニコBOXでエールをみなさんより頂き、いつもニコニコでエールを送卓話の方へ送りますが、緊張もありますが大変嬉しいですね。弊社は、4月が新年度のため年が空けると次の立案に入るのですが、その前に23名の社員の前で、これまでをおさらいし、来年の方向をメッセージで伝えられることを心から感謝申し上げます。親愛なる愛宕の皆様と社員たちの前で最も緊張しますが、お話しさせていただきます。まずなぜ跡取りを選んだか?一人っ子だったが、お嬢さんをお願い、家業を継いでもらえばいいと思っていましたが、25・6歳の頃、自分は何のために生まれてき

たのだろと悩んでいたころ、営業職が大変楽しく、一生仕事をしていたいと思いました。同時期に、父の上層の仕事が面白そうだと化学反応をし、自分で継げばいいと決めたのです。

私の人生、JCの先輩より「君ってそこに障害があるのわかっているのに、そこに自らぶつかって行くよね。ぶつかりながら泣きながらでないと進めないよね」と言われました。確かに、あの2・26事件が起こった2月26日生まれだし、幼稚園・小学校の編入試験にも3回落ち、後を継ぎたいと父に言ったわけですが、一人っ子が自分から言い出すので喜んで来てくれと言われるかと思いきや、駄目だと言われ、なんと1年かかってやっと1997年入社出来たのでした。何をやってもスムーズに行かないのが私の人生でした。

そんな私の趣味はというと・・・原動力は、ここにも約半数来ておりますが、社員たちであります。私を信じて付いてきてくれる社員とその家族を、この会社に入ってよかった、この世に生まれて来てよかった、幸せだという人生を送ってもらいたい、それが私の原動力であります。

弊社は、私の祖父・石渡秀が創業しました。最初から本物の醸造発行を行い、お客様だけでなく、原材料を作る方々への感謝を大切に、また安心と安全をキーワードに100年を超える企業となりました。祖父が餅菓子屋を10歳で起業、軍の御用聞き商人でお砂糖を入手できたため、お砂糖たっぷりのラムネを作り始めたのが始まりでした。港区の企業は軍の御用聞きからということが多く、それは他社との差別化も図れたと思います。また弊社は100年企業の割に中身が企業一年目の会社のような、老舗ベンチャーとなっております。

2010年、私が3代目を継いで、そこで節目にぶつかって2・3年苦しい時期でしたが、ようやく上向きになってきており、竹で言う節を抜け出し、第2ステージに行く感覚がしています。

先ほど原動力は社員と申しましたが、そのきっかけは、2代目の父・光一でした。2003年、入社6年目、あなたに3代目のバトンを渡すと初めて言ってもらいました。その時に心を共にしてくれる社員を育てなさい、あなたに譲ると決めた会社だから口は出さないと。そして

有難かったのが、社長でありながら社長業を全部譲ってくれ、銀行の交渉から経営計画、社員の採用全てをやらせてくれたため、2010年3月7日から社長になりましたが、昨日までと同じ状況でした。頭でなく体で学んで知恵にさせてくれたことは、本当にありがたかったと思います。

小さくなる市場、ライバルは大手企業、その厳しい時代を生き残るにはどうしたらいいか？行き着いたのが社員教育でした。仕組みは真似ができる、真似ができないのは唯一企業文化だと。企業文化は社員が作る＝社員を育てること。小さくても光り続ける会社、ダイヤのように光る強い石になっていくには社員だというのが私の結論です。私は一人一人をプロに育てたい、全員でも素晴らしいハーモニーを奏でられる、そんな組織を目指しています。そして真似されないこと。技術力、醸造力はあるって当たり前で、企業と顧客の関係性を作る、その一瞬を作るのが私でなく社員、それこそが独自能力なのだと考えています。

何でわかってくれないの？つい思いますがそれは間違え。人を育てるのではなく、人の成長に関わらせて頂く。社員から一番学び、自分も成長させてもらっているとつくづく思います。この姿勢があれば、感謝の気持ちでいられるなどと思います。

最後に、2020年東京オリンピックに向けて、ホッピーを世界中のお客様に飲んで頂くため、The東京ドリンクを目指していきます。



¥14,000 累計総額¥12,290 (国際ロータリーおよび米山奨学会へ¥435,000寄付をさせていただきました。)

- ・メリークリスマス！（関端）
- ・一年間ありがとうございます。（齋藤）
- ・今年最後の例会。おつかれさまでした、良いお年を。（丸山）
- ・2013年のラストスピーチに石渡さんとニコニコ（尾関）
- ・メリークリスマス！今年最後の例会にふさわしい石渡副会長のインシエーションスピーチ楽しみにしています。（柳）
- ・石渡さん本日もありがとうございます。皆様、来年も良い年にしましょう！！（山田）
- ・今年ももう終わりますね。本当にありがとうございました！（Alex）

■1月のプログラム

1/14（火）インシエーションスピーチ

1/21（火）インシエーションスピーチ

1/28（火）卓話：梅田悦生様（東京恵比寿RC所属。医学博士・赤坂山王クリニック院長、レコール・デュ・ヴァン創業者『ワインと健康について』）

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL:03-3568-3827 / FAX:03-3568-3829 / E-mail:office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

<http://atagorotary.com/>

